

公共事業環境配慮実施報告書

建設部 道路建設課

事業名称		達成状況の評価
事業名	道路改築事業	A
整理番号	25-1	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	中野市	
箇所名	柳沢	
事業年度	平成25年度～令和4年度	
		配慮した項目 31 = 100% 配慮する全項目 31
事業概要		
目的	道路改築事業によりバイパス道路を整備し、車両の安全かつ円滑な通行あるいは歩行者の安全を確保する。	
事業概要	道路築造工 L=1.8km 道路幅員W=6.0(10.75)m	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地	農振法の農業振興地域
	河川法の河川区域または河川保全区域	文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施
	土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施
	排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施
	低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	水環境	<b>【水質汚濁の防止】</b>
沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		適正に実施
地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。		適正に実施
工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実施
<b>【水循環の保全】</b>		
水田や地下水・湧水を保全する。		適正に実施
地下水を使用しない又は使用量を削減する。		適正に実施
掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。	適正に実施	
地形・地質	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	適正に実施
	工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実施
	工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
景観	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	<b>【良好な景観の育成】</b>	
周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施	

自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。	適正に実施
	史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施